

平成 30 年度 リハビリテーション技術部 論文・学会発表業績リスト

論文発表

1. SASAKI K., KATAOKA T. : Letter to the editor: A simple sarcopenia screening test predicts future adverse events in patients with heart failure. Int J Cardiol 256: 27, 2018
2. Otsuka R, Sasaki R, Tsuiki S, Kojima S, Onishi H : Post-exercise cortical depression following repetitive passive finger movement. Neuroscience Letters 656(2017)89-93
3. 浅井康紀、大庭潤平、岩田健太郎：集中治療室における作業療法士の役割ーギラン・バレー症候群事例を通してー，神戸学院大学紀要
4. Morisawa T,Ueno K,Fukuda Y,Kanazawa N,Kawaguchi H,Zaiki R,Fuzisaki H,Yoshioka H,Sasaki M,Iwata K,Koyama T,Kitai T,Furukawa Y,Takahashi T : 2017 Significance of sequential cardiac rehabilitation program through inter-hospital cooperation between acute care and rehabilitation hospitals in elderly patients after cardiac surgery in Japan. Heart vessels.2017 Apr 27

学会報告

1. 若田恭介、高橋祐介、永田一真、富井啓介：間質性肺炎患者における骨格筋量減少の有無と健康関連 QOL の関連。第 27 回日本呼吸ケアリハビリテーション学会，宮城，2017/11/17・18
2. 若田恭介、高橋祐介、河内勇人、永田一真、富井啓介：HFNC 併用し積極的にリハビリを進行できた間質性肺炎急性増悪の一例。第 3 回近畿呼吸ケアリハビリテーション学会，大阪，2018/2/22・23
3. 若田恭介、亀井こずえ、竹中麻里子、東別府直紀、西岡弘晶：間質性肺炎患者におけるステロイド使用の有無と身体組成、筋力、呼吸機能の関連。第 33 回日本静脈経腸栄養学会学術集会，横浜，2017/5/12-14
4. 大塚脩斗、坂本裕規、佐々木康介、下雅意崇亨、山根崇史、古川裕、小山忠明、岩田健太郎：心臓弁膜症に対する待機的手術患者における術前サルコペニア有症率。第 52 回日本理学療法学術大会，千葉，2017/5/12-5/14

5. 滝本龍矢：大腿骨顆上骨折と胸椎病的骨折に伴う対麻痺を呈し、車椅子移乗動作獲得を目指した症例。H29年度 兵庫県理学療法士会 神戸東ブロック新人発表会,神戸, 2018/2/4
6. 横山公子：高エネルギー外傷による多発骨折に対する疼痛管理に難渋したびまん性軸索損傷の一症例。H29年度 兵庫県理学療法士会 神戸東ブロック新人発表会,神戸, 2018/2/4
7. 皐月幹太：重度頸髄損傷後 起立性低血圧を呈した症例に対し 装具歩行練習で機能回復を認めた経験。H29年度 兵庫県理学療法士会 神戸東ブロック新人発表会,神戸, 2018/2/4
8. 後藤田瑞樹：脊髄空洞症にSS shunt術施行後、症状が増悪した1症例 ～介助量軽減に着目して～。H29年度 兵庫県理学療法士会 神戸東ブロック新人発表会,神戸, 2018/2/4
9. 荒川皓輔：運動負荷に着目した、フィッシャー症候群とギランバレー症候群重複型の一症例。H29年度 兵庫県理学療法士会 神戸東ブロック新人発表会,神戸, 2018/2/4
10. 帆苺美咲：ICU diaryを用いて不安、抑うつ軽減がみられた一症例。H29年度 兵庫県理学療法士会 神戸東ブロック新人発表会,神戸, 2018/2/4
11. 大塚遼平：橋腹側部BAD型脳梗塞を発症した症例～装具歩行を実施し歩行の改善に至った症例～。H29年度 兵庫県理学療法士会 神戸東ブロック新人発表会,神戸, 2018/2/4
12. 原田惇平、岩田健太郎、下雅意崇亨、佐々木康介、南本陽菜、村井亮介、山根崇史、古川裕：心不全患者における骨格筋量と握力低下の頻度-左室駆出率の低下の有無による比較-。第23回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 岐阜, 2018/7/15-16
13. 岡田一貴：活動性低下がみられた両側小脳梗塞患者の起居・トイレ動作向上を目指した一例。H29年度 兵庫県作業療法士会 新人発表会, 兵庫, 2018/2/4
14. 石川夏帆：入院後より症状悪化し、ADLが低下した症例について。H29年度 兵庫県作業療法士会 新人発表会, 兵庫, 2018/2/4
15. 赤松泉実：アレキサンダー病患者に対し趣味の書道に着目し介入した症例。H29年度 兵庫県作業療法士会 新人発表会, 兵庫, 2018/2/4

16. 桑田佳世子：寝返り動作の獲得により 自発性の向上に繋がった症例. H29 年度 兵庫県作業療法士会 新人発表会, 兵庫, 2018/2/4
17. 桐畑智大：認知症を持つ運動麻痺患者の食事動作改善に向けて～環境設定に着目して～. 第 51 回日本作業療法学会, 東京, 2017/9/22-24
18. 小松寛、松尾貴央、東別府直紀：急性期病院における舌圧を用いた嚥下機能評価の検討 第 1 報 嚥下機能の変化値と舌圧の関連から. 第 23 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 千葉, 2017/9/16-17
19. 小松寛、松尾貴央、東別府直紀：急性期病院における舌圧を用いた嚥下機能評価の検討 第 2 報 嚥下機能の変化値と舌圧の関連から. 第 23 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 千葉, 2017/9/16-17
20. 大塚遼平、佐々木亮樹、立木翔太、齋藤慧、犬飼康人、大西秀明：反復的他動運動後の皮質脊髄路興奮性の変化-関節運動範囲の影響-.第 52 回日本理学療法学会, 千葉, 2017/5/12-5/14
21. 下雅意崇亨：シンポジウム 難渋症例に対する理学療法介入とチームアプローチ. 第 23 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 岐阜, 2018/7/15-16
22. 下雅意崇亨：シンポジウム 当院 ICUにおけるリハビリテーションの現状とチームアプローチ. 日本集中治療医学会第 2 回中国・四国支部学術集会, 岡山, 2018/1/27
23. 中田歩美香：重症敗血症患者における ICU 関連筋力低下発症に対する早期集中リハビリテーションと通常治療との差異. 第 52 回日本理学療法学会, 千葉, 2017/5/12-5/14
24. 大竹康平、下雅意崇亨、南本陽菜、吉田晃久、岩田健太郎、仲村直子、藤本和美、高橋真弓子、山根崇史、古川裕：ファロー四徴症のために生じた長年の活動制限に伴う身体機能の低下が外来心リハを契機に改善を認めた一症例. 第 23 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 岐阜, 2018/7/15-16
25. 吉田晃久、岩田健太郎、下雅意崇亨、南本陽菜、大竹康平、仲村直子、藤本和美、高橋真弓子、山根崇史、古川裕：冠動脈バイパス/左室形成術後患者の抑うつ症状に対し多職種による包括的ケアを行い職業復帰に至った症例. 第 23 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 岐阜, 2018/7/15-16

26. 南本陽菜、下雅意崇亨、大竹康平、吉田晃久、岩田健太郎、仲村直子、藤本和美、高橋真弓子、山根崇史、古川裕：長期外来心リハにより活動量の改善に繋がった超高齢 TAVI 施行患者の一例. 第 23 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 岐阜, 2018/7/15-16

27. 浅井康紀：急性期病院 ICU における作業療法士の役割. 全国労災病院リハビリテーション技師会 全国研修会, 関東労災病院, 神奈川, 2018.6.10

28. Koki Asai, Ryutaro Seo, Jumpei Oba : Roles of occupational therapists at ICU - Study through 2 cases-.The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, Chang Gung University, Taiwan 2018.10.19-22

29. 高橋祐介、西原浩真、永田一真、富井啓介：救急病棟専従理学療法士配置による誤嚥性肺炎患者への介入効果. 第 3 回近畿呼吸ケアリハビリテーション学会, 大阪, 2018/2/22・23

30. 浅井康紀：当院での情報共有の取り組みについて. 神戸広域脳卒中地域連携協議会, 兵庫, 2018.6.4

31. 岩田健太郎：急性期病院におけるリハビリテーションの役割と効果～神戸市立医療センター中央市民病院の取り組み～. 第 46 回 全国労災病院リハビリテーション技師会 全国研修会, 2017.6.10

32. 岩田健太郎：レジデント制度の構築 - 卒後教育の充実に向けて -. 第 30 回教育研修会シンポジウム. 2017.9.1

33. 岩田健太郎：理学療法の「分科」と「包括」について考える - 臨床と教育の立場から - 2017.9.2

34. 岩田健太郎：集中治療における早期リハビリテーションの普及・標準化にむけて - 現状と今後の課題 -. 第 45 回日本集中治療医学会学術集会. 2018.2.21